



NHK 詳細分析

2026-05-05_radio_news_0600

放送: 2026-05-05 | 分析日: 2026-05-13 15:59

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.3/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.8 / 10

均衡

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権：高市早苗首相（自民党）率いる自民党・公明党連立政権。2024年10月27日衆院選で自民党は191議席に後退（前回261議席から大幅減）したが、公明党24議席との連立により政権を維持。

主要野党：立憲民主党（148議席、主要野党）、日本維新の会（38議席）、国民民主党（28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（8議席）。

政党	L-Rスコア	議席数	政権/野党	核心的立場
日本共産党	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時脱原発、反軍拡
社民党	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、MMT、反軍拡
立憲民主党	3.5	148	野党	護憲、再分配、脱原発中期
公明党	5.0	24	連立与党	平和志向、社会保障、連立ブレーキ役
国民民主党	5.5	28	中間	消費税5%、実用的原発活用
自由民	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費2%、原発再稼働

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

主党				
日本維新の会	7.0	38	野党	規制緩和、分権改革、防衛強化
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム

日本の政治的対立軸は主に四点に集約される。第一に、憲法9条改正をめぐる護憲・改憲の対立。第二に、防衛費GDP比2%達成と反撃能力保有をめぐる安全保障政策の方向性。第三に、原発再稼働・新增設と脱原発・再生可能エネルギー転換の対立。第四に、2024年衆院選での自民党大敗を受けた政権基盤の脆弱化と、野党連携の可能性をめぐる政局流動化。

NHKは放送法に基づく公共放送であり、経営委員会の12名委員は首相が任命（国会同意）する構造を持つ。安倍政権期（2012～2020年）以降、「政権に近いNHK」との批判が学術・ジャーナリズム界で継続的に提起されており、RSF報道自由度ランキングでは2024年に70位と、民主主義国の中では低位に位置する。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスを制限し、構造的な政権近接性を生み出している。

- ・ タイトル：NHKラジオニュース（朝の定時ニュース）
- ・ 日付：2025年5月5日（推定）— 大型連休中、6時10分過ぎの放送
- ・ 推定尺：約12分30秒（00:00:01～00:12:35）
- ・ アナウンサー/レポーター：不明（ラジオアナウンサー）、気象情報担当：吉井明子
- ・ インタビュー対象者：なし（ストレートニュース形式）

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
高市早苗首相	内閣総理大臣	自民党	右派（LR 7.0）
小泉防衛大臣	防衛大臣	自民党	右派（LR 7.0）
自民党・小林政（氏）	自民党議員	自民党	右派（LR 7.0）
片山財務大臣	財務大臣	自民党	右派（LR 7.0）
吉井明子	気象情報担当	NHK	中立（技術職）
トランプ大統領	米国大統領	共和党	右派

ホルムズ海峡をめぐるイラン・米国間の軍事的緊張の急速な高まりと、それに関連する日本の外交・防衛・エネルギー政策の動向を中心とした朝の定時ニュース。

ホルムズ海峡は世界の石油輸送量の約20%が通過する戦略的要衝であり、イランによる封鎖・攻撃は日本のエネルギー安全保障に直結する。米国の「プロジェクト・フリーダム」はトランプ政権による一方的な軍事的関与であり、国際法上の正当性をめぐる議論が存在する。日本は憲法9条の制約下で集団的自衛権の行使が限定されており、中東で

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

の軍事的関与には国内的・政治的制約がある。UAEへの攻撃帰属については、イラン側が否定しており、情報の真偽が未確定の段階での報道である。

- * イランの立場・主張（制裁への反発、自衛権の主張、米国の挑発への言及）
- * 国際法的観点（ホルムズ海峡の国際水域としての地位、通航権の法的根拠）
- * 日本の憲法的制約と中東軍事関与の限界
- * 野党の安全保障政策への見解（立憲民主党・共産党等の反応）
- * エネルギー安全保障の代替策（再生可能エネルギー、備蓄政策）
- * 攻撃帰属の不確実性（イラン側否定、独立的検証の欠如）
- * 地域諸国（UAE、サウジアラビア等）の独自の利害関係
- * 韓国への参加要求（トランプ発言）の外交的含意
- * 日本の少子化対策の具体的内容と政策効果の検証
- * 為替介入疑惑の透明性と財務省の説明責任

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:00:57～00:01:09 — 引用：「イランの革命防衛隊とつながっています。アメリカ側が発表した小船の通過を否定しました」 — 評価：イランの否定は一文で触れられているが、イランの立場の詳細（制裁への反発、自衛権主張）は全く説明されていない。

[B] 省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：ホルムズ海峡の国際法的地位、通航権の法的根拠についての言及は皆無。

[C] 省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：日本の憲法的制約と中東軍事関与の限界についての言及は全くない。

[D] 省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：野党の安全保障政策への見解は一切取り上げられていない。

[E] 省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：エネルギー安全保障の代替策（再生可能エネルギー等）への言及はない。

[F] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:02:36～00:02:46 — 引用：「イランとしてUAEを標的にするつもりはないとする軍交換の話を伝えました」 — 評価：イランの否定は末尾に一文で触れられているが、攻撃帰属の不確実性についての体系的な検証はない。

[G] 省略

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：UAE・サウジアラビア等の独自の利害関係への言及はない。

[H] 言及あり

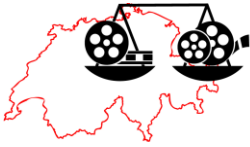
タイムスタンプ：00:01:48～00:01:56 — 引用：「韓国は、今こそこの任務に参加するときだと主張しました」 — 評価：トランプ発言として紹介されているが、この要求の外交的含意や韓国側の反応は説明されていない。

[I] 省略

タイムスタンプ：00:03:57～00:04:39 — 引用：（出生率関連の断片的言及） — 評価：少子化の数値は触れられているが、政策の具体的内容・効果検証は全くない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



[J] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:04:55～00:05:00 — 引用：「政府理事議員による市場の侵入が再び行われたのではないかとのみ、見方も出ています」 — 評価：為替介入疑惑は「見方も出ています」と一文で触れられているが、財務省の説明責任や透明性への追及はない。

理由：本放送は定時ラジオニュースという形式上の制約があるものの、イラン情勢という重大な国際問題において、イランの立場・国際法的文脈・野党の見解・攻撃帰属の不確実性が体系的に省略されている。政府側の発表（米国・UAE・日本政府）が一方向的に伝えられ、対抗的視点はほぼ皆無。少子化・為替介入等の国内問題でも政策検証の視点が欠如している。

- ・ 国際法専門家：ホルムズ海峡の通航権、米国の「プロジェクト・フリーダム」の国際法的正当性について見解を提供できた
- ・ イラン研究者/中東専門家：イランの戦略的意図、制裁への反発、地域的文脈を説明できた
- ・ 野党安全保障担当者（立憲民主党・共産党）：防衛装備輸出拡大・中東関与への批判的見解を提供できた
- ・ エネルギー安全保障専門家：中東依存リスクと代替エネルギー政策の観点を提供できた
- ・ 為替・金融市場専門家（独立系）：為替介入疑惑について財務省から独立した分析を提供できた
- ・ UAE・湾岸諸国の外交専門家：攻撃帰属の独立的検証と地域諸国の利害を説明できた
- ・ 少子化・人口政策研究者：出生率データの文脈と政策効果の独立的評価を提供できた
- ・ 憲法学者：防衛装備輸出拡大の憲法的含意について見解を提供できた

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

2/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：誰が専門家として発言しているか？

本放送はストレートニュース形式であり、外部専門家へのインタビューは一切含まれていない。発言者は全員が政府関係者（日本・米国・UAE・韓国政府）または気象情報担当者（吉井明子）のみである。

専門家1：吉井明子（気象情報担当）

タイムスタンプ：00:08:57～00:12:35

発言：「北海道では夕方から暴風に警戒が必要です」

位置付け：NHK気象情報担当。気象情報という技術的・中立的分野での発言であり、政治的偏向の問題は生じない。

欠如する対抗的見解：なし（気象情報は事実情報）

クレディビリティ・マトリクス（吉井明子）：

(a) 資金調達：NHK（受信料・公共資金） — 気象情報については利益相反なし

(b) 委任：気象情報提供は中立的評価と完全に適合

(c) クレディビリティ・マトリクス（6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：+2 — 気象情報に政治的利益相反なし

D2 個人的リスク：0 — 標準的職務

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

D3 専門能力：+2 — 気象専門家として適切

D4 見解の一貫性：+2 — 気象情報は客観的データに基づく

D5 感情化 vs データ：+2 — データに基づく情報提供

D6 情報源レベル：+1 — 一次データに近い

- 合計：+9 → 情報源信号灯：緑

(c) 専門能力: 中立的に枠組みされているか：はい、適切

欠如している専門家グループ：

- 中東・イラン研究者（地域的文脈の説明）
- 国際法専門家（ホルムズ海峡の法的地位）
- 独立系エネルギー安全保障専門家

まとめ（マトリクス結果）：吉井明子（気象）→ 緑。政治・外交・安全保障分野の独立的専門家は皆無であり、全ての政治的情報が政府発表のみに依拠している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：アメリカ中央軍（CENTCOM）

タイムスタンプ：00:00:44～00:00:55 — 発言：「その第一弾として、アメリカ船隻の小船2隻が通過に成功し、安全に航行を続けていると発表しました」

(a) 資金調達・運営主体：米国国防総省（軍事機関）

(b) 構造的利益相反：「プロジェクト・フリーダム」の成功を宣伝する直接的利益を持つ当事者

(c) 欠如する対抗情報源：独立的な船舶追跡機関（MarineTraffic等）、国連海洋法専門家

欠如する対抗情報源：独立的検証機関の見解が全く引用されていない。

情報源2：UAE外務省・国防省

タイムスタンプ：00:01:11～00:02:25 — 発言：「UAEの外務省は、4日、海峡を航行していた石油会社のタンカーが無人機2機による攻撃を受けたと発表しました」

(a) 資金調達・運営主体：UAE政府（当事国）

(b) 構造的利益相反：イランとの対立において直接的な利害関係を持つ当事者

(c) 欠如する対抗情報源：国連安保理、独立的調査機関の見解

情報源3：トランプ大統領（SNS投稿）

タイムスタンプ：00:01:40～00:01:56 — 発言：「イランが、国々に対して攻撃を行った。韓国の貨物船も含まれていると投稿し、韓国は、今こそこの任務に参加するときだと主張しました」

(a) 資金調達・運営主体：米国大統領（政治的当事者）

(b) 構造的利益相反：イランへの圧力強化と同盟国の軍事参加拡大に直接的利益を持つ

(c) SNS投稿を公式発表と同等に扱うことの問題：検証なく事実として報道されている

まとめ：本放送で引用された全ての情報源が、米国・UAE・日本政府という利害関係を持つ当事者であり、独立的な検証機関・専門家・対抗的立場の情報源は皆無である。これは放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして重大な問題を構成する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

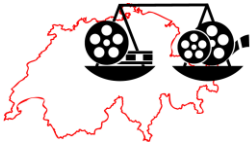
推定発言時間：

- イラン情勢（米国・UAE・韓国政府の立場）：約2分30秒（約20%）
- 日本政府の活動（高市首相・小泉防衛相・片山財務相・自民党議員）：約1分30秒（約12%）
- 経済情報（為替・株式）：約1分（約8%）
- 国際ニュース（WHO）：約20秒（約3%）
- 社会・各地ニュース（気象・交通・事故）：約1分30秒（約12%）
- スポーツ（大谷・鈴木）：約1分（約8%）
- 気象情報（吉井明子）：約3分（約24%）
- その他（移行・時刻告知等）：約1分40秒（約13%）

まとめ：政治ニュースにおいて、日本政府・米国政府・UAE政府の立場が合計約4分を占める一方、野党・イラン・独立専門家の発言時間はゼロである。ただし定時ニュース形式の構造的制約を考慮すると、この時間配分の非対称性は形式に内在する問題でもある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？ (第0ステップを参照)

省略1：

文脈：イランの立場・主張の詳細

関連タイムスタンプ：00:00:57～00:01:09

影響：イランが「攻撃側」として一方的に描かれ、制裁への反発・自衛権の主張・米国の挑発への言及が全く示されないことで、視聴者はイランを一方的な侵略者として認識する。

省略2：

文脈：防衛装備輸出拡大に対する野党・市民社会の批判的見解

関連タイムスタンプ：00:03:30～00:03:48

影響：「殺傷能力のある武器の輸出」という重大な政策転換が、政府側の肯定的枠組みのみで伝えられ、憲法問題・平和主義との矛盾・野党の反対意見が完全に省略されている。

省略3：

文脈：攻撃帰属の不確実性と独立的検証

関連タイムスタンプ：00:01:11～00:02:35

影響：UAEへの攻撃が「イランからの攻撃」として繰り返し報道されているが、独立的な検証機関（国連等）の見解や、帰属の不確実性についての体系的な説明が欠如しており、未確認情報が事実として定着する危険がある。

まとめ：本放送における省略は、政府側（日本・米国・UAE）の立場を強化し、対抗的視点（イラン・野党・独立専門家）を体系的に排除する方向で機能している。定時ニュースの時間的制約を考慮しても、重要な対抗的視点の省略は放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：00:04:36～00:04:39

数値：「国連の世界人口推計で人口4000万人以上の世界の国々と比較すると、韓国に次いで2番目に低くなっています」

欠如する文脈：比較対象国の選定基準（「人口4000万人以上」という閾値の恣意性）、出生率の絶対値、政策との因果関係、他の比較軸（例：OECD平均との比較）が示されていない。

影響：「韓国に次いで2番目に低い」という数値が文脈なく提示されることで、問題の深刻さが強調される一方、政策的含意や改善の可能性についての情報が欠如している。

所見2：

タイムスタンプ：00:04:48～00:04:52

数値：「円相場は一時、1ドル155円台後半まで値上がりしました」

欠如する文脈：この円高水準の歴史的な位置付け、為替介入の規模・効果、財務省の公式見解が示されていない。

影響：数値のみが提示され、その政策的含意（為替介入の是非、財政コスト等）についての文脈が欠如している。

まとめ：数値は提示されているが、比較基準・歴史的な文脈・政策的含意が体系的に欠如しており、数値が政府の立場を支持する方向で選択的に使用されている可能性がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 関係による信用失墜（連座制）

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的な集団・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け1：

タイムスタンプ：00:00:57～00:01:00

引用：「これに対し、イランの革命防衛隊とつながっています」

技法：「革命防衛隊とつながっている」という表現により、発言主体（イラン側の否定声明の発信者）を革命防衛隊と関連付けることで、その信頼性を事前に低下させている。

影響：視聴者はイラン側の否定声明を「革命防衛隊の主張」として受け取り、信頼性が低いと判断するよう誘導される。

各人物の評価：

本放送において「陰謀論者」等として枠組みされた人物は存在しない。

まとめ：「革命防衛隊とつながっている」という一文による関連付けは軽度の信用失墜技法として確認されるが、本放送全体における使用頻度は低い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：00:00:01～00:02:46（冒頭）

内容：「まず、イラン情勢です」として、ホルムズ海峡の緊張を放送の冒頭に配置

タイミング効果：冒頭に配置することで、イラン情勢が最重要ニュースとして位置付けられ、視聴者の認知的枠組みが「危機・緊張」モードで設定される。その後の日本政府の防衛・外交活動ニュースが、この危機的文脈の中で正当化されやすくなる。

所見2：

位置：00:02:36～00:02:46（イラン情勢セクションの末尾）

内容：「イランとしてUAEを標的にするつもりはないとする軍交換の話伝えました」

タイミング効果：イランの否定・緩和的メッセージが、攻撃報道の末尾に一文で付け加えられることで、視聴者の記憶に残りにくい構造になっている（初頭効果・親近効果の逆用）。

まとめ：イラン情勢を冒頭に配置し危機的文脈を設定した上で、日本政府の防衛・外交活動を続けて報道する構成は、政府の安全保障政策を正当化する文脈的效果を持つ。イランの否定的メッセージの末尾配置も情報の印象管理として機能している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、類似の他の立場には見られない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に、反応を引き起こした具体的な出来事を記録すること。反応は、他の立場における類似の出来事が同様の反応を生じさせなかった場合にのみ、選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:02:21~00:02:25

引き起こした出来事：UAEへのミサイル攻撃（イランに帰属）

反応：「危険なエスカレーションだなどとイランを強く非難しました」（UAE国防省の非難をそのまま伝達）

比較：米国の「プロジェクト・フリーダム」という一方的軍事行動（00:00:30~00:00:43）に対しては、同様の批判的表現は使用されていない。

非対称性：部分的に確認 — ただし、これはアナウンサー自身の感情表現ではなく、UAE政府の発言の引用であるため、アナウンサーの選択的憤慨とは区別される必要がある。問題は、UAE政府の評価的発言を検証なく伝達する一方で、米国の行動に対する批判的評価を伝えないという情報源選択の非対称性にある。

まとめ：アナウンサー自身の明示的な感情表現は確認されないが、批判的評価を含む発言（UAE国防省のイラン非難）と肯定的評価を含む発言（米国の「プロジェクト・フリーダム」）の伝達方法に非対称性が見られる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:03～00:00:16

引用：「ホルムズ海峡の開放を目指すアメリカは、4日、ペルシャ湾内の船舶を誘導して海峡を通過させる取り組みを開発し、アメリカ船隻の小船2隻が通過に成功したと発表しました」

操作：「ホルムズ海峡の開放を目指す」という表現により、米国の行動が「封鎖に対する防衛的対応」として枠組みされている。

なぜ問題か：イランが海峡を「封鎖」しているという前提が検証なく埋め込まれており、米国の軍事的関与が正当化された行動として視聴者に印象付けられる。

所見2：

タイムスタンプ：00:02:26～00:02:35

引用：「先月上旬にアメリカとイランが定戦合意に至った、イランからの攻撃でこうした被害が出るのは初めてとみられます」

操作：停戦合意後の「イランからの攻撃」という枠組みにより、イランが合意を破った側として位置付けられている。

なぜ問題か：攻撃の帰属が未確認の段階で「イランからの攻撃」と断定的に表現することは、一方的な事実認定であり、視聴者の判断を誘導する。

所見3：

タイムスタンプ：00:03:30～00:03:48

引用：「小泉防衛大臣は、訪問先のインドネシアでシャフリ国防省と会談し、日本が殺傷能力のある武器の輸出を減速可能としたことを受けて、作業チームを設けて防衛装備や技術分野の協力の具体化を図ることで一致しました」

操作：防衛装備輸出拡大が「協力の具体化」という中立的・肯定的な表現で枠組みされている。

なぜ問題か：「殺傷能力のある武器の輸出」という重大な政策転換が、外交的成果として肯定的に枠組みされており、憲法的・倫理的問題点への言及が全くない。

まとめ：本放送は米国・日本政府の立場を「正当な行動」として枠組みし、イランを「攻撃側」として位置付ける一方的な枠組みが複数箇所を確認される。ただし定時ニュースの形式的制約を考慮すると、意図的操作と構造的省略の区別が困難な部分もある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：00:00:30～00:00:43

引用：「トランプ大統領が表明したペルシャ湾内の船舶を誘導し、ホルムズ海峡を通過させるための取り組み、プロジェクトフリーダム」

操作：「プロジェクト・フリーダム（自由作戦）」という米国政府の命名をそのまま使用している。

なぜ問題か：「自由」という価値的に肯定的な語を含む米国の作戦名を批判的検討なく採用することで、米国の軍事行動に正当性の光輪を付与している。中立的代替表現は「ペルシャ湾船舶誘導作戦」等。

所見2：

タイムスタンプ：00:02:21～00:02:25

引用：「危険なエスカレーションだなどとイランを強く非難しました」

操作：UAE国防省の「強い非難」という表現が、検証なく事実として伝えられている。

なぜ問題か：「危険なエスカレーション」という評価的表現がUAE政府の立場として紹介されているが、これはイランを一方向的に非難する政治的言明であり、独立的検証なく事実と同列に扱われている。

所見3：

タイムスタンプ：00:04:55～00:05:00

引用：「政府理事議員による市場の侵入が再び行われたのではないかとのみ、見方も出ています」

操作：為替介入を「市場の侵入（介入）」と表現しつつ、「見方も出ています」という曖昧な表現で責任の所在を不明確にしている。

なぜ問題か：為替介入疑惑という重大な政策問題が、主体不明の「見方」として矮小化されており、財務省への直接的な説明責任追及が回避されている。

まとめ：米国の軍事作戦名の無批判な採用、UAE政府の政治的言明の事実化、為替介入疑惑の曖昧化など、言語選択において政府側に有利な傾向が複数確認される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に、介入を引き起こした具体的な出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける類似の出来事が同様の介入を生じさせなかった場合にのみ、非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：00:02:48～00:03:00

引き起こした出来事：イラン情勢の報道終了後、次のニュースセクションへの移行

引用（司会者）：「ではここからは、NHKラジオセンターに入っているニュースを、分野ごとに政治、経済、国際、社会や各地、スポーツの順に短くまとめてお伝えします」

比較：本放送はインタビュー形式ではなくストレートニュース形式であるため、司会者による質問・割り込みという概念自体が適用されない。

非対称性：確認不可 — 本放送形式において司会者の非対称的介入を評価する比較対象が存在しない。

まとめ：本放送はラジオ定時ニュースのストレート形式であり、司会者とゲストの対話構造が存在しないため、司会者行動の非対称性を評価する条件が整っていない。スコアは形式的制約を反映した低スコアとする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はストレートニュース形式であり、インタビューや質疑応答の構造が存在しない。アナウンサーは政府発表を読み上げるのみであり、質問の非対称性を評価する比較対象が存在しない。

まとめ：本放送形式において質問の非対称性は評価不可能であり、スコア0は非対称性の不在ではなく評価条件の不成立を反映する。



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見1：

タイムスタンプ：00:00:57～00:01:09

構造：「アメリカ側が発表した小船の通過を否定しました」というイランの否定を一文で紹介することで、表面的な「両論併記」の形式を取っている。

分析：米国側の主張には約40秒（00:00:30～00:00:55）が割かれているのに対し、イラン側の否定は約12秒（00:00:57～00:01:09）のみ。これは形式的な均衡を装いながら、実質的には米国側の主張を大幅に優遇する偽りの均衡である。

まとめ：本放送における偽りの均衡は、イランの否定声明を形式的に紹介しながら、実質的な時間・文脈・詳細において米国側の主張を大幅に優遇する構造として現れている。ただし定時ニュースの形式的制約を考慮すると、意図的な偽りの均衡と構造的省略の区別が困難な部分もある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：ホルムズ海峡の「開放」が正当な目標であるという前提

タイムスタンプ：00:00:03～00:00:16 — 根拠：「ホルムズ海峡の開放を目指すアメリカは」

代替アジェンダ：米国の一方的軍事関与の正当性、国際法的根拠、地域諸国の主権への影響

所見2：

設定されたアジェンダ要素：防衛装備輸出拡大が「協力の具体化」として自明の政策進展であるという前提

タイムスタンプ：00:03:30～00:03:48 — 根拠：「作業チームを設けて防衛装備や技術分野の協力の具体化を図ることで一致しました」

代替アジェンダ：憲法問題、平和主義との矛盾、輸出先国での使用リスク、野党の反対意見

所見3：

設定されたアジェンダ要素：日本のエネルギー安全保障が中東依存の継続を前提とするという枠組み

タイムスタンプ：00:03:20～00:03:25 — 根拠：「中東情勢を踏まえ、双方向の安定的なエネルギー確保の取り組みを進めていくことを確認しました」

代替アジェンダ：再生可能エネルギーへの転換、中東依存からの脱却、エネルギー安全保障の多角化

まとめ：本放送は、米国の軍事行動の正当性、日本の防衛装備輸出拡大の妥当性、中東依存型エネルギー政策の継続を自明の前提として設定しており、これらの前提に対する批判的検討がアジェンダから体系的に排除されている。

第2ステップ — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	4	米国の軍事行動を「正当な防衛」として枠組みし、イランを「攻撃側」として位置付ける一方的な枠組みが複数確認される
2	言葉の選択	4	「プロジェクト・フリーダム」の無批判採用、UAE政府の評価的発言の事実化など、政府側に有利な言語選択が見られる
3	専門家の選定	2	外部専門家が皆無で、全ての政治的情報が政府発表のみに依拠している
4	省略	6	イランの立場・野党の見解・攻撃帰属の不確実性が体系的に省略されている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	1	ストレートニュース形式のため評価条件が不成立（形式的制約）
6	時間配分	5	政府側の立場が約4分を占める一方、野党・イラン・独立専門家の発言時間はゼロ
7	質問の非対称性	0	ストレートニュース形式のため評価条件が不成立
8	関係による信用失墜	2	「革命防衛隊とつながっている」という一文による軽度の信用失墜が確認される
9	数値操作	3	出生率・為替数値が比較基準・歴史的な文脈なく提示されている
10	タイミング	3	イラン情勢の冒頭配置が危機的文脈を設定し、後続の防衛政策報道を正当化する効果を持つ
11	映像選択	0	ラジオ形式のため評価不可
12	情報源の選定	5	全情報源が利害関係を持つ当事者（米国・UAE・日本政府）であり、独立的検証機関が皆無
13	選択的憤慨	2	情報源選択における非対称性は確認されるが、アナウンサー自身の明示的感情表現は見られない
14	偽りの均衡	2	イランの否定声明を形式的に紹介しながら実質的に米国側を大幅優遇する構造が確認される
15	アジェンダ設定	5	米国の軍事行動の正当性・防衛装備輸出拡大・中東依存型エネルギー政策が自明の前提として設定されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.6 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：3.4 / 10（基準70% + 完全性30%）

支配的技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア6）：イランの立場・野党の見解・攻撃帰属の不確実性・国際法的文脈が体系的に省略されており、政府側の発表が唯一の情報源として機能している。これは放送法第4条の多角的論点提示義務に対する最も重大な問題を構成する。
2. 情報源の選定（スコア5）：全ての政治的情報源が米国・UAE・日本政府という利害関係を持つ当事者に限定されており、独立的な検証機関・専門家・対抗的立場の情報源が皆無である。これにより政府発表が検証なく事実として伝達される構造が生まれている。
3. アジェンダ設定（スコア5）：米国の軍事行動の正当性、防衛装備輸出拡大の妥当性、中東依存型エネルギー政策の継続が自明の前提として設定されており、これらの前提に対する批判的検討がアジェンダから体系的に排除されている。

放送の核心的メッセージ

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

メッセージ1 (内容的) : 「ホルムズ海峡の緊張はイランの攻撃的行動によって引き起こされており、米国の軍事的関与は正当な対応である」

技法 : フレーミング・情報源選定 — 根拠 : 00:00:03、00:02:21

メッセージ2 (個人的) : 「高市政権は中東危機に対して積極的な外交・防衛政策で対応しており、その活動は評価に値する」

技法 : アジェンダ設定・省略 — 根拠 : 00:03:03、00:03:30

メッセージ3 (社会的) : 「日本は防衛装備輸出拡大とエネルギー安全保障強化によって中東危機に対応すべきであり、これは自明の政策方向である」

技法 : アジェンダ設定・フレーミング — 根拠 : 00:03:20、00:03:38

操作度の分類

- 均衡ある報道 (0~2)
- 軽度の傾向 (3~4)
- 明確な一方性 (5~6)
- 体系的な偏り (7~8)
- 極端な偏り (9~10)

理由 : 本放送は定時ラジオニュースという形式的制約の中で、政府発表を中心とした報道を行っており、明示的な操作技法の使用は限定的である。しかし、イランの立場・野党の見解・独立専門家の意見が体系的に省略され、全情報源が政府当事者に限定されている点は、放送法第4条第2号 (政治的公平) および第4号 (多角的論点の明確化) に照らして問題がある。複合スコア3.4は「軽度の傾向」の範囲内であるが、特に省略・情報源選定・アジェンダ設定の各スコアは、定時ニュース形式の制約を超えた構造的問題を示している。

結論

本放送は、ホルムズ海峡をめぐる軍事的緊張という重大な国際問題を、米国・UAE・日本政府の立場のみから報道しており、イランの主張・国際法的文脈・野党の見解・独立専門家の分析が体系的に欠如している。放送法第4条第2号 (政治的公平) の観点から、政府側の立場のみが伝達される構造は問題を含む。同第4号 (多角的論点の明確化) の観点からは、攻撃帰属の不確実性・憲法問題・エネルギー政策の代替案等の重要な論点がアジェンダから排除されている。ただし、定時ラジオニュースという形式的制約 (約12分、複数テーマ) を考慮すると、全ての問題が意図的操作によるものとは断定できず、構造的・制度的要因 (記者クラブ制度、政府発表依存の取材慣行) による省略の側面も大きい。複合スコア3.4は「軽度の傾向」の範囲内であり、放送法違反の明確な証拠とはならないが、継続的なモニタリングと改善が求められる。

第3ステップ — 政党政治的バイアス

政党別評価

政党	スコア (-5~+5)	放送内の描写 vs 党の綱領的立場
自民党 (自由民主党)	+1	00:03:03 「高市総理大臣は...幅広い分野での連携強化で一致しました」 — 綱領的立場 : 防衛強化・エネルギー安全保障 — 政府活動が肯定的文脈で報道されているが、明示的な党派的賞賛はない。やや好意的な描写。
立憲民主党	0	該当なし — 綱領的立場 : 護憲・脱原発・外交的解決 — 本放送において立憲民主党への言及は皆無。省略による不可視化。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

公明党	0	該当なし — 綱領的立場：平和志向・社会保障 — 本放送において公明党への言及は皆無。
維新の会	0	該当なし — 綱領的立場：規制緩和・防衛強化 — 本放送において維新の会への言及は皆無。
共産党	0	該当なし — 綱領的立場：護憲・反軍拡・即時脱原発 — 本放送において共産党への言及は皆無。
国民民主党	0	該当なし — 綱領的立場：消費税5%・実用的原発活用 — 本放送において国民民主党への言及は皆無。

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：自民党（スコア+1） — 政府活動として事実に基づいた報道
- 最も強い歪曲：立憲民主党・共産党（スコア0） — 省略による不可視化
- 0からの平均偏差：0.2
- 結論：本放送における政党バイアスは、特定政党の積極的な歪曲よりも、野党全般の体系的な不可視化として現れている。自民党政権の活動（高市首相・小泉防衛相・片山財務相）が複数報道される一方、野党の見解・反応・批判は一切取り上げられていない。これは放送法第4条第2号の政治的公平の観点から問題を含む構造である。

左右スペクトル全体的傾向

傾向スコア：-0.8

（正 = 左派優遇、負 = 右派優遇、0.0 = 均衡）

分類：右派優遇

理由：本放送は自民党政権の活動（防衛装備輸出拡大・エネルギー安全保障・日豪首脳会談）を複数報道する一方、野党（立憲民主党・共産党・れいわ等）の見解を一切取り上げていない。米国の軍事行動を正当化する枠組み、防衛装備輸出拡大の肯定的描写、中東依存型エネルギー政策の継続を自明とするアジェンダ設定は、自民党の綱領的立場（防衛強化・日米同盟重視・エネルギー安全保障）と整合的である。ただし、傾向スコア-0.8は「軽度の右派優遇」の範囲内であり、定時ニュースの形式的制約（政府活動が主要ニュースソースとなりやすい構造）を考慮すると、意図的な政治的偏向と構造的要因の区別が必要である。

第4ステップ — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の明確化（第4号）を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の明確化）

事実：ホルムズ海峡をめぐる軍事的緊張という重大な国際問題において、米国・UAE・日本政府の立場のみが伝達され、イランの主張・国際法的文脈・独立専門家の分析・野党の見解が体系的に省略されている。

根拠：タイムスタンプ00:00:03~00:02:46 — 引用：「ホルムズ海峡の開放を目指すアメリカは」「危険なエスカレーションだなどとイランを強く非難しました」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

評価：多角的な論点の明確化という義務に照らして、一方的な情報源構成は問題を含む。ただし定時ニュースの形式的制約を考慮すると、単一の放送回での判断には限界がある。

違反2：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：政治ニュースにおいて、自民党政権の活動（高市首相・小泉防衛相・片山財務相・自民党議員）が複数報道される一方、野党の見解・反応・批判は一切取り上げられていない。

根拠：タイムスタンプ00:03:03～00:04:39 — 引用：「高市総理大臣は...幅広い分野での連携強化で一致しました」「小泉防衛大臣は...協力の具体化を図ることで一致しました」

評価：政治的公平の観点から、与党活動のみの報道は問題を含む。ただし、政府活動が主要ニュースソースとなりやすい定時ニュースの構造的な特性を考慮する必要がある。

違反3：

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

事実：UAEへの攻撃が「イランからの攻撃」として繰り返し報道されているが、攻撃帰属の独立的検証が示されておらず、イラン側の否定声明が末尾に一文で付け加えられるのみである。

根拠：タイムスタンプ00:01:11～00:02:35 — 引用：「イランからの無人機攻撃によって石油施設で大規模な火災が発生し」「イランから4発の巡航ミサイルが発射されたのを検知し」

評価：未確認の攻撃帰属を断定的に報道することは、報道の正確性の観点から問題を含む可能性がある。

放送法第4条総合評価

本放送は、定時ラジオニュースという形式的制約の中で、放送法第4条が求める政治的公平・報道の正確性・多角的論点の明確化の各要件に対して、軽度から中程度の問題を含む構造が確認される。特に、全情報源が政府当事者に限定されている点（第4号）、野党の見解が体系的に省略されている点（第2号）、攻撃帰属が独立的検証なく断定的に報道されている点（第3号）は、継続的なモニタリングの対象となりうる。ただし、複合スコア3.4は「軽度の傾向」の範囲内であり、単一の放送回での放送法違反の認定には、同一テーマにわたる継続的な報道パターンの検証が必要である。本分析は、放送法第4条の観点からの問題点を記録するものであり、法的違反の確定的判断ではない。

情報源詳細チェック（引用された全機関・NGO・専門機関に対する義務的検証）

1. アメリカ中央軍（CENTCOM）

- 資金調達：米国国防総省（連邦政府予算） — 軍事機関
 - 委任：軍事作戦の実施・広報が主要任務であり、作戦の成功を報告することに直接的利益を持つ
 - 利益相反：「プロジェクト・フリーダム」の成功を宣伝する直接的利益を持つ当事者であり、中立の情報源としての適格性に重大な疑問がある
 - クレディビリティ・マトリクス：
 - D1 利益相反：-2 — 作戦の成功を報告することに直接的利益
 - D2 個人的リスク：-1 — 機関的リスクはあるが個人的リスクは低い
 - D3 専門能力：+1 — 軍事作戦の実施については専門的だが、中立的評価には不適
 - D4 見解の一貫性：0 — 確認困難
 - D5 感情化 vs データ：0 — 数値的発表だが検証不可
 - D6 情報源レベル：-1 — 一次情報だが当事者情報
- 合計：-3 → 情報源信号灯：黄
- 対抗的見解：独立的な船舶追跡機関（MarineTraffic等）、国連海洋法専門家の見解が引用されていない

2. UAE外務省・国防省

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

1. 資金調達：UAE政府（当事国）
 2. 委任：国家安全保障・外交政策の推進が主要任務
 3. 利益相反：イランとの対立において直接的な利害関係を持つ当事者であり、攻撃帰属の独立的証人としての適格性に重大な疑問がある
 4. クレディビリティ・マトリクス：
 - D1 利益相反：-2 — イランとの対立において直接的利益
 - D2 個人的リスク：-1 — 機関的リスクはあるが個人的リスクは低い
 - D3 専門能力：+1 — 自国の安全保障については情報を持つが中立性に欠ける
 - D4 見解の一貫性：0 — 確認困難
 - D5 感情化 vs データ：-1 — 「危険なエスカレーション」等の評価的表現を使用
 - D6 情報源レベル：-1 — 一次情報だが当事者情報
- 合計：-4 → 情報源信号灯：黄
5. 対抗的見解：国連安保理、独立的調査機関（Human Rights Watch等）の見解が引用されていない

3. WHO（世界保健機関）

1. 資金調達：国連加盟国の分担金・任意拠出金
 2. 委任：国際的な公衆衛生の監視・対応が主要任務であり、ハンタウイルス感染事例の報告については中立的評価と適合
 3. 利益相反：ハンタウイルス感染事例の報告については利益相反なし
 4. クレディビリティ・マトリクス：
 - D1 利益相反：+1 — 感染症報告については利益相反なし
 - D2 個人的リスク：0 — 標準的職務
 - D3 専門能力：+2 — 国際的な公衆衛生の専門機関
 - D4 見解の一貫性：+1 — 感染症報告については一貫した方法論
 - D5 感情化 vs データ：+2 — データに基づく報告
 - D6 情報源レベル：+1 — 一次データに近い
- 合計：+7 → 情報源信号灯：緑
5. 対抗的見解：感染症報告については対抗的見解の必要性は低い

本分析はバージョン2.7-detailに基づき、方法論的原則K5+K13（介入の引き金となった出来事の記録）を適用して作成された。全ての評価は提供されたトランスクリプトに基づくものであり、放送法第4条への適合性の最終的な法的判断は、継続的な放送パターンの検証と専門的な法的評価を必要とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	2/10	問題なし
2	情報源の選定	5/10	顕著な偏り
3	時間配分	5/10	顕著な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
5	数値操作	3/10	軽微な偏り
6	関係による信用失墜（連座制）	2/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	2/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	4/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	4/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り

ハードファクトスコア (1-8)

3.9/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.7/10

軽微な不均衡

総合スコア

3.3/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1